

## 2年連続で過去最高を更新

### ■北九州空港25年度貨物量

北九州市は23日、北九州空港の2025年度貨物取扱量が2年連続で過去最高を更新したと発表した。25年度の貨物取扱量（国内と国際の合計、北九州市集計）は前年度比12.3%増の4万1092トンだった。

北九州市によると、24年4月に就航したヤマトグループおよび日本航空グループによる貨物定期便が、1年間を通じて1日あたり4往復8便が安

定的に運航されたことで貨物取扱量が堅調に増加したという。

国内貨物に関しては、首都圏への多頻度輸送のメリットを生かして、輸送サービスのさらなる拡充を目指す。国際貨物に関しては、九州での半導体関連貨物の需要拡大の流れをつかみ、25年には北九州空港の輸出入額が3年連続で過去最高を更新した。この勢いを維持しつつ、引き続き需

要の高い貨物を中心に戦略的な集貨に取り組む。

北九州市は「27年8月末の滑走路3000メートル化を見据え、既存路線の定着化、新規路線の誘致、貨物地区の機能強化といった事業を推進することに加えて、物流の脱炭素化と新たな運び方の確立という次世代に向けた取り組みを一体的に進めることで『攻めの物流拠点化』を推進していく」としている。